

地域密着型金融の取組事例について

タイトル 相談業務への取組

JA名 JAあかし（兵庫県）

1 動機 (経緯)	正組合員の中で相続税対策や遺言書作成についての相談業務についてのニーズが高まっており、希望者を募って相談会を数年前より実施する様になりました。
2 概要	JAバンク相談部を招いて定例的な相談会を2か月ごとに開催。 相談会前には資産状況の変化などについて事前に聞き取りを行なっています。 定例相談だけでなく、新規相談には個別に対応しており、今後も相談件数は増えていくものと思われます。
3 成果 (効果)	JAバンク兵庫が農中信託銀行の遺言信託代理店として遺言信託に取り組んでおり、当JAの組合員については7件成約しています。 また、個別相談において過去に作成した遺言書の内容を見直したいという相談を受けお手伝いをしました。 なお、遺言者は健康上の理由から外出が難しいため公証人がご自宅まで出張しての再作成となりました。 遺言者の意向を正確に反映した文面の作成や公証人の出張までの手続きは組合員単独では難しく、当JAとJAバンク相談部でサポートすることで時間はかかりましたが満足して頂ける結果を得ることが出来ました。
4 今後の 予定 (課題)	当地域では、農業の傍ら、不動産賃貸事業を経営する組合員もおられ、賃貸事業の法人化を検討する方も増えてきています。 専門の税理士と連携した法人設立支援等、都市部のJAとして、税務、相続関係の相談業務を今後も強化し、組合員との絆を強くしてゆく必要があると考えています。